

自己評価および外部評価結果結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|-----|--|--|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 法人の理念を掲げ、その法人の理念に基づいてホームの事業計画を立てている。また、ホームの理念も掲げており、目的を明確にしている。 | 「家庭的な居心地よい環境づくり、積極的に地域に出て楽しむ」など利用者を尊重した理念を持ち支援に繋げている。職員会議の都度目標に向かった理念を確認し合っている。 | |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | ご家族や地域ボランティアに来所して頂き、ホームの様子を知って頂く機会にしている。また、新聞の発行、HPの更新等を行っている。近所を散歩した際には会話を楽しんでいる。野菜等を下さるご近所の方もいる。 | 祭事のみならず、常日頃家族や歌、手芸、小学生とのゲームなどのボランティアとの交流を多くしている。近所の方が自宅で採れた野菜など持ってきてくれた時など利用者との交流ができ、また散歩に出た時お互いに会話のできる喜びを感じている。 | ボランティアを募り、利用者の趣味活動を活かした創作活動等を今以上に進め、利用者個々のできる喜びが習得されるような支援も希望します。 |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域に出て、認知症予防教室の講師を行うことをしている。また、施設見学や、実習生やボランティアが来所された時には、認知症の症状について、説明を行うようにしている。 | | |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月～3ヶ月毎に開催している。ホームでの取り組み等の報告を行い、意見や指導を頂いている。会議の際に出た意見は、職員にも伝えている。 | 行政関係者、民生委員、区長、利用者、家族、第三者委員を委員とし、2ヶ月～3ヶ月毎に会議をもち、取組状況や事業計画を審議されている。出された意見や要望指導は、職員間連携し実践に繋げている。 | |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 定期的に保健福祉課へ訪問し、こまめに連絡を取り合っている。 | 町担当者にも運営推進委員になってもらうと共に、広報等を届けたり、支援状況を伝達し様々な指導も受けている。また祭事の時も積極的に協力してもらっている。 | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 利用者様の思いを理解し、身体拘束は行っていない。 | 利用者の住み慣れた生活を尊重し、一切の施錠は禁止している。個室であるため利用者自身が施錠することはあるが、プライバシー保護のためその行為は認めている。無断外出などの対策として感知器などを利用し、職員が目配りしている。 | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | エリア内の各会議の中で学ぶ機会を持っている。現在、自宅や事業所内での虐待のある事実はない状況である。 | | |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | エリア内の各会議の中で学ぶ機会を持っている。現在制度を活用することが必要な利用者様はいない状況である。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|-----|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 利用契約時に、契約書・重要事項説明書により説明を行っている。また、解約については、利用者様・ご家族と十分な話し合いの機会を設けて決定している。退居先についても、一緒に考えさせて頂いている。 | | |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情窓口を重要事項説明書に明記している。毎年、満足度の調査アンケートを実施している。また、利用者様の「つぶやき」を記録しており、その「つぶやき」の内容をサービスの改善につなげている。 | 苦情窓口を重要事項説明書に明記し、活用してもらっている。毎年、家族からの満足度の調査アンケートを実施し支援に結びつけている。また、利用者様の「つぶやき」を記録し検討を加え、支援策の改善に繋げている。 | |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎日の申し送りや、毎月のホーム会議にて、各スタッフと活発な意見交換を行っている。 | 定期的な会議だけでなく、気づいた時に意見交換できる場を持ち、改善策など速やかに利用者へ反映させる対策を構築している。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | チャレンジシート、実績評価表を基に個別面接を行うようにしている。優秀職員個人賞、チーム賞、理事長賞等の表彰制度を取り入れており、各職員の意欲に結びつけられるようにしている。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | スーパースターシートを用いている。スーパースターシートに基づき、各職員がチャレンジする項目を明確にするようにしている。また、定期的に法人内外の研修に参加している。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 辰野町運営協議会や、介護予防事業を受けている事業所との定期的な会議を設けて、相互の活動の様子を情報共有することをしており、それをサービスの質につなげるようにしている。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 契約前の面接において、家族だけではなく本人にも必ず出席して頂いて、不安や要望もお聞きするようにしている。面接した内容は、フェイスシートに記録すると共に、暫定ケアプランに反映することをしている。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 契約前の面接において、不安や要望等をお聞きするようにしている。面接した内容は、フェイスシートに記録すると共に、暫定ケアプランに反映することをしている。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談内容からグループホーム以外の利用が適切と判断した場合は、他施設のサービスの概要も説明できるようにしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 利用者の様子観察を十分に行い、その立場に立ち会話をし、思いを知るようにしている。利用者様が良い表情であったり、嬉しそうな会話があった時は、一緒に喜び合う関係作りができています。 | | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族の面会時等に、利用者様、ご家族、職員がともに話ができる機会を積極的に設けている。ご家族とのケアカンファレンスからの意見を大切にすることをしている。 | | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 外出に出かける際は、馴染みの場所に出掛けられるようにしている。家族以外の訪問者も、ご家族の承諾を得た上で、受け入れている。 | 個々のプロフィール把握により得た情報をもとに、旅行やドライブ、買い物時に、懐かしい馴染みの場所に接するようにしている。近所の方々に接した時もあった。できるだけ家族以外の友人や親戚の方に面会に来て頂けるようPRしている。 | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 気の合う利用者様同士と一緒に活動が行えるよう、近くのテーブルに誘導したりするなど、コミュニケーションが図りやすい環境を作るようにしている。 | | |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退居後も定期的な連絡を通じてご本人の状態を把握し、必要に応じてどのようなサービスが必要か一緒に考えている。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者様から したいといった声を積極的にお聞きするように努めている。利用者様・ご家族の要望は、ケアプランを作成するアセスメント用紙に反映している。 | 利用者のプロフィール表やフェイスシートを基に、日頃の声、希望などを把握に努めている。出された事項は家族の意見も含め、ケアプランの作成・実践に反映させている。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 面接時に得た情報をフェイスシートにまとめ、全職員で情報共有している。また、入居前にはご家族に「利用者様のプロフィール表」を作成して頂き、今までの生活歴や嗜好などの情報を得ている。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 利用者様・ご家族の要望は、ケアプランを作成するアセスメント用紙に反映している。定期的にカンファレンス会議を行っている。 | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 身体状況、認知症状の変化の観察に努める他、利用者様との会話、ご家族との情報交換を大切にすることでケアプランを作成するようにしている。 | 利用者のプロフィール表、日頃観察した生活状態、身体状況、認知症状を考察し、家族の意見も加え、毎日に充実した思いやりのあるケアプラン作成に心掛けている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個々の様子を毎日残すようにしている。また、利用者様の表情の変化や、つぶやかれたこと、ひやり・はっとした内容についても記録に残している。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 必要な場合は、病院受診や、個別外出について、職員が付き添うようにしている。ご本人の居室にご家族が宿泊することもできるようにしてある。 | | |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の方達を施設行事に招いたりすることで、地域との連携を図れるようにしている。無断外出による利用者様の搜索や、災害が起きた場合については、警察、消防署と連携が行えるようにしている。 | | |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 各利用者様のかかりつけ医との連携を図ることをしている。場合によっては、ご家族の承諾を得て、主治医に直接連絡をさせて頂き指示を頂いたり、往診をして頂いている。 | 在宅でのかかりつけ病院との受診は入居後も保っている。受診時は家族にお願いしているが時には家族の承諾を得て、直接主治医と相談指示を受けることもある。受診時には、日常生活状態を主治医に報告するよう勤めている。 | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 併設事業所内の看護師や、医療連携体制に基づく訪問看護ステーションの看護師と連携を図っている。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時はグループホーム内での生活の様子を病院に情報提供している。また、退院時は、各利用者様のかかりつけ医や、協力医療機関である辰野病院からの情報を確認するようにしている。 | | |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 定期受診の内容を、事業所も把握しているようにしている。利用者様の状態が、治療・療法・看護等を常時必要とする状態になることが考えられる場合は、他のサービスを変更される方が多く、相談にのれるようにしている。 | 利用者が未永く自活できる状態を望み、日常生活上体力維持に心掛けているが、利用者が治療・看護等要するに至った場合は、他のサービスが適用するよう家族を含め相談できる体制を整えている。このような状態に至った時の支援については、当初の重要事項説明書に明記されている。 | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変時対応マニュアル、事故発生時対応マニュアル等のマニュアルを作成して、連絡方法や職員の動きを明確にしてある。また、辰野町消防署による勉強会も実施している。 | | |
| 35 | (13) | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的に防災訓練を実施している。また、消防署スタッフによる勉強会に取り組んでいる。 | 消防署職員による消火訓練、救急訓練が行われ、地域を交えての避難訓練を行っている。通報方法は火災が発生すると自動的に消防署・職員に通報されるシステムを採用しているので職員は利用者の非難に専念できる | 実際に夜間の時間帯に行う夜間の訓練も重要視しなければなりません。今後の取り組みとして、夜間の時間に行う訓練を実施されて状況把握されることを期待します。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|---|--|-------------------|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 利用者様へのアプローチに成功した事例、失敗した事例を分析し、利用者様を尊重した声かけが行えるように、定期的に振り返ることにしている。記録についても、必ず個人情報のある物はシュレッターにかけている | 利用者へのアプローチに成功した事例や失敗事例を記載した法人独自の「せりふ集」を作り、その事例を分析し、利用者様を尊重した接遇ができるよう心掛けている。個人情報の守秘義務にも努め、個人情報のあるものはシュレッターにかけている。 | | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者様に選択してもらうことを心掛けて言葉掛けをしている。利用者様を尊重した声かけが行えるように、定期的に振り返ることにしている。 | | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 掃除・洗濯・食事作り・買い物等、その日の利用者様の体調や気分に合わせて参加が行えるようにしている。 | | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご本人・ご家族の希望を確認し、入居前のなじみの美容院、または訪問理美容を選択できるようにしている。着替えの際には、着たい洋服を選んで頂きサポートしている。 | | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備から後片付けまで、利用者様とスタッフが一緒に行っている。また、各利用者様の食べたいものをお聞きし、メニューに反映している。 | 利用者の食べたい食事を聞きだしメニューに反映させている。自炊で採れた作物や近所から頂いた野菜で旬の料理を作り、古風的な料理の話題に話しが弾むことが多い。買物への同伴、調理、配膳、下膳と利用者のできることはお手伝いしてくれる。 | | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの嗜好を把握した上で、提供している。職員の中に栄養士の資格者がいる為、定期的にカロリー計算を行っている。水分量についても記録に残している。 | | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、お声をおかけし、ご本人の出来ることは行って頂いている。歯科医よりの指示がある方については、仕上げ磨きをさせて頂いている。 | | | |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェック表を用いて排泄のパターンを把握し、その方に合わせたトイレへの声かけ、誘導を行っている。また、定期的にアセスメント・評価を行っており、その内容に基づいて支援している。 | 排泄チェック表を採用し、個々の排泄パターンを把握し、その利用者に合わせてトイレへの声かけや誘導を行っている。失敗しても責めない。定期的にアセスメント評価を行い、利用者に快い支援をしている。 | | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 便秘気味の方には、水分も促すようにしている。また、毎日ラジオ体操を行い、天気の良い日は散歩に出掛けるなどして、便秘予防に努めている。ヨーグルト、バナナ、ヤクルト等食材の工夫もしている。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴への声かけは毎日個別に行っており、ご本人の入りたい日に入れるようにしている。 | 毎日、利用者の好きな時間帯に入浴することができる。バイタルチェックは欠かさず、入浴の声かけにより、入りたい日に入浴してもらうようにしている。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 「入浴の睡眠・休息状態をアセスメント」評価しており、その内容に基づいて、支援方法を明確にしている。また、疲労の様子が見られた時は、個別に声かけをし、ソファや居室でゆっくり休めるようにサポートしている | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の処方箋をかかり付け医に出してもらっている。その処方箋をカルテに保管して、スタッフ間で情報共有し、適切な内容で服用ができるようにサポートしている。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | お好きなテレビ番組や新聞が読めるようにしている。また、歌、手芸等、お好きなことに参加して頂けるようにしている。食器洗いや掃除等は利用者様を中心となって実施することで、生活の張りにつながっている。 | | |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 希望により、買い物やドライブ、散歩を行っている。毎月のレク担当者による計画を立て、外出、外食、季節毎の行事を行っている。 | お天気の良い日は散歩する支援をしている。その他、希望者を募り、買物のお手伝いもしてもらっている。近隣へのドライブも利用者にとって楽しみの支援である。買物に行くと住民の方から声をかけられる喜びも一入多きものと感じるようである。 | |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご本人管理のお金の持ち込みは、認知症による管理能力の低下も踏まえ、最小限にして頂いている。ご本人やご家族からの希望が無い場合は、金銭管理の支援は行っていない。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | スタッフルームの電話は、利用者様から希望があればいつでもつなぐようにしている。また、手紙についても、差出し・受け取りを自由にして頂いている。 | | |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間に設置するものを購入する際は、利用者様の馴染みがあるものを購入するようにしている。利用者様が選んだお花や絵を飾るようにしている。利用者様と話し合い、現在フロアにてウサギの飼育を行っている。 | 利用者の意見により兎を飼い始めた。毎日誰しか餌を与え可愛がっている。余暇活動で作られた作品は共用スペースに飾り、季節的な草花も飾られている。ユーモア豊富なビデオテープを職員が持ち寄り、皆で笑顔で視聴している姿が印象的でした。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共有空間にはテーブル・椅子、ソファを置いて、お好きな場所でくつろぐことができる環境を整えている。また、庭先のウッドデッキにもイス等を置き、ゆっくり過ごして頂ける場所になっている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居契約時やカンファレンスの際に、ご家庭で使い慣れた家具や生活用品を準備して頂くことをお願いしており、各利用者様の生活習慣や好みに合わせた環境に整えている。 | 入居前に使い慣れた家具や物を持ち込み、自宅と変わらない居室環境が持たれている。お洒落な衣類も整然と収納されていた。綺麗好きな利用者(男性)はごみ一つでも拾って歩いていた。入口も利用者の安眠を妨げない監視対策がとられている。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 廊下、浴室、トイレ等に手すりの設置をしている。また、日々様子を観察し、改善が必要と思われる所の改善、工夫を行っている。 | | |